定價一箇月郵稅共金六十三錢

編輯兼發行人　朝鮮總督府鐵道局內　新木英之助
發行所　京城府漢江通三丁目四十番地　朝鮮總督府鐵道局
印刷所　朝鮮總督府鐵道局授產部

（大正十四年四月一日第三種郵便物認可）　（日刊　除日曜及祝祭日ノ翌日）

朝鮮總督府鐵道局 公報

昭和十八年二月二十日（土曜日）　第六一〇號

◎辭令

叙任

釜山地方鐵道局勤務ヲ命ス　副參事　市毛　健
京局運貨長　同　佐藤　信雄
總務課勤務ヲ命ス（鐵）　同　梅本　義人
京鐵運同
京城地方鐵道局運輸部貨物課長ヲ命ス
以上二月十九日

總務部勤務ヲ命ス（鐵）　副參事　市毛　健
二月十九日（釜局）

運輸課勤務ヲ命ス　書記　大峽　正則
釜　輸　同　春元田喜禎
整備課勤務ヲ命ス（鐵）
以上二月十八日
輸　書記　古城剛之助

京城地方鐵道局勤務ヲ命ス　技手　竹田　澄夫
（各通）釜改工　囑託　山岸　三雄
釜山地方鐵道局勤務ヲ命ス
以上二月十九日

（京城建設事務所）
三千浦工事區事務掛ヲ命ス　雇員　逸木　清隆
三千工事　同　木藤　武
京城建設事務所庶務課勤務ヲ命ス
以上二月二十日

（釜山工場）
釜山工場鑄物職場技工ヲ命ス　事務技工　雇員　矢田　正孝
二月十一日

◎雜錄

●車輛等號規程改正ニ關スル號外發行セリ（二月十八日附）

◎廣告

●鐵道關係雜誌記事目錄　第三三四號ノ三（本目錄ニ收リ難キ邊ノ場合ハ雜誌名、卷號及ビ各頁行數ヲ下記ノ如ク記入ス）（圖書館）

工業

燃料（續）

支那に於けるガソリン代用アルコール生產事業に就て（小野盛次）　汎自動車　一七卷二一四
國產燃料完全燃燒器の性能に就て　同　B18
自動車燃料政策の確立（肥田一郎）　同　一七卷二二四　B18
列車運轉用の代用燃料（歐洲）　汎交通　二一卷五　M4
日立燃料耐爆性試驗機　日立　五卷五　B19
燃料工業と遠心清淨機　同
モータカー代燃用としてのアセチレン瓦斯に就いて（鐵道省工務局土木課）
空氣豫熱器による燃料節約に就いて（藤光茜）
第一回コークス研究會速記錄　保線現業　一三卷七　C4
フイッシヤー氏ガソリン合成法（藤生猛郎）　石川島技報　三卷七　J15
イソオクタン・メタノール・レントール合成法（藤生猛郎）　鐵物　一四卷八　B13
化學工藝　二四卷三　C7
南方資源と燃料問題（石田臨照）　同　二四卷四　C7
燃燒溫度と燃料問題（石田臨照）　科學と工業　一七卷八　B15
代用燃料事情見（小林明）　機械　一五卷五　P7
燃燒溫度（小林明）　機械及電氣　四卷一二　K5
田力立に燃料經濟に影響を及ぼすヂーゼル燃料の特性（稻葉彌之助）　同　五卷五　K5
水素添加ガソリンに就て（大塚博）　同　五卷一一　K5
天然ガスのクラツキンに依るカーボンブラツク（組卷熱）　工業化學雜誌　四三編五〇三　N14
滿鐵に於ける石炭液化の研究（阿部良之助）　同　四三編五〇八　N14
ガソリン合成の物理化學的研究（松村彤一）　同
固體燃料の燃燒性に關する研究（第一—二報）
（石黑亘、外二名）　同　四五編五二九　N14
動植物油による自動車燃料の研究（岡田次郎）　工業國策　三卷一二　G11
合金と燃料經濟（吉村晉文）　鑛業と合金　四卷一　O16
晉國の人造石油業　同　四卷八　O16
滿洲國に於ける液體燃料事情（溝下薫）　鐵工滿洲　一卷一一、一二　L8
本邦に於ける煉炭の情況　國勢グラフ　九卷二、　B3
後電所の燃料と消耗品の節約（加藤榮松）　工務月報　一卷六　E2
木炭自動車と木炭問題（加藤文平）　交通時代　二五六號　P5
石炭液化が成功するまで　協和　一七卷一三七　N19
石炭を原料とする液體燃料工業（阿部良之助）　滿洲の技術　四五〇號　J19
天然瓦斯の性質、種類、產出狀等に就て（三川逸郎）モーター　N11
天然瓦斯自動車の歷史と千葉縣の天然瓦斯（成田榮一）　同　四七〇號　N11
ガソリン問題と交通對策（岩崎彥五郎）　同　四七五號　N11
適燃を適車に（島津榮藏）　同　內燃機關　四卷二　M7
就て燃料に就て（遠山永次郎）
內燃機關用エーチル化アルコール燃料に就て（藤山國二）　同

ディーゼル燃料のセタン價（山崎毅六）　同　四卷五　M7
自動車用燃料（松木熊吉）　同　四卷七　M7
新航空燃料ネオヘキサン（諏訪哲郎）　同　四卷九　M7
瓦斯の比熱、特に Spectrosope 的研究値（大賀惠二）　同　四卷一〇　M7
自動車用燃料としてのアセチレン瓦斯（入木重成）同　四卷一一　M7
石油代用燃料と其の實用性（島津檜藏、檜本淨惠）同　六卷六　M7
燃料耐爆性試驗機の國産化（渡邊鄰雄）　同
昭和一四年度に於ける重要なる燃料關係事項（燃料協會編輯）　燃料協會誌　一九卷二〇八　K16
石炭抽出物の利用（馬場有政）　同　一九卷二〇九　K16
天然ガスと專灣（小川亨）　同　一九卷二一〇　K16
コークス技術者座談會（第六回コークス特別會）　同　一九卷二一一　K16
中山第一コークス爐の築造、乾燥及びスタート作業（大樂恭知）　同
コークス爐ガスの利用に就て（松原正良）　同　一九卷二一二　K16
アツシュ・メーターに就て（入江定男）　同　一九卷二一三　K16
第七五議會に反映せる燃料問題　同　一九卷二一四　K16
時局と燃料問題（伊藤定）　同　一九卷二一五　K16
燃料と國民生活（渡邊扶）　同
工業的水素ガス分離裝置の實際（山崎徹爾）　同　一九卷二一六　K16
オンツインの重合による潤滑油の合成（桑田勉）　同　一九卷二一七　K16
本邦に於ける可燃性天然ガス資源（千谷好之助）　同　一九卷二一八　K16
潤滑油の凝固點低下劑に關する調査報告（高嶋四郎）　同　一九卷二一九　K16
北支炭及び北支炭を配合せる粘炭の試焼成績（立松和男）　同
高速ディーゼル機關に於ける代用燃料使用の一、二の實驗（岡村健二）　同　一九卷二一六　K16
滿洲に於ける液體燃料事情（水谷光太郎）　同　一九卷二一七　K16
機械化兵器と燃料（原乙未生）　同
國防と燃料（坂本俊篤）　同　一九卷二一八　K16
最近に於ける燃料關係の特許發明（高橋政博）　同
大型ボイラー及び燃焼裝置の發達に就て（石川敬吉）　同
家庭燃料潤給調整座談會　同
實用航空機に就て制限したオクタン價の效果及び燃料消費率低減に關する一問題（八田龍太郎）同　二〇卷二三一　K16
航空燃料に對する一考察（小林良之助、鹿島兜久）同
石炭中無機物の鐵酸に依る溶出に就て（森川清、外二名）　同　O1

定價一箇月郵稅共金六十三錢

（大正十四年四月一日第三種郵便物認可）　（日刊　除日曜及祝祭日ノ翌日）

朝鮮總督府鐵道局　公報　昭和十八年二月二十三日（火曜日）　第六一一號

◎通牒

○通第六一號　（總務課）

防空監視隊員感謝資金募集ニ關スル件

開戰以來山間海邊ノ僻地ニ配置サレ寒暑雨雪ヲ克服シ日夜默々トシテ一億國民ノ眼トナリ耳トナリ一瞬ノ油斷ナク不時ノ空襲ニ備ヘ國土防衛ノ重任ニ在ル防空監視隊員ノ勞苦ニ對シ感謝ノ意ヲ表スル爲目下感謝資金募集中ニ付當局ニ於テモ左記ニ依リ醵出シ以テ其ノ勞苦ノ一端ナリトモ酬ヒ度ニ付夫々手配相成度

記

一、醵出標準

勅任官	十圓
本局課長、地方局長	三圓
前二號以外ノ高等官	二圓
判任官同待遇者	一圓
囑託	待遇ニ應ジ前各號ニ準ズ
雇員	二十錢

二、各受領代人ニ於テ三月分俸給、給料ヨリ取纒メ（各地方局、建設、改良事務所ニ於テハ管内ヲ一括ノ上）三月二十五日迄ニ名簿ヲ添ヘ總務課長宛送金ノコト

三、名簿樣式

身分別	員數	醵出額	箇所名
計			

◎辭令

（各通）

總長　局長　山田新十郎
理事　小林利一
朝鮮總督府無煙炭利用强化委員會委員ヲ命ス
監　同
同　同　同　田中保太郎
同　同　田邊多聞
（各通）
書記　同　鈴野收
輸　同　副參事　桑行惠雄
書　同　形山節夫
轉　長　技師　崎山參一郎
朝鮮總督府無煙炭利用强化委員會幹事ヲ命ス
以上二月十九日（朝鮮總督府）
京城工　技手　白川好三
整備課勤務ヲ命ス（鐵）
二月二十日
電　技手　瀧川正己
可聽周波電信器ヲ考案セルガ本器ハ受信總度鋭敏ニシテ且總電器ヲ使用セザル爲通信掛ノ能率ヲ著シク向上シ尙現行方式ニ於ケル一箇所ノ機器支障ガ全回線ノ障害トナル缺點ヲ除去セルノミナラズ其ノ通信線ハ如何ナル金屬、細線ニテモ可ナル爲施設費低廉ニシテ業務上裨益スル所洵ニ尠カラズ仍テ朝鮮總督府鐵道局職員表彰規程ニ依リ敎範章並ニ金二百圓ヲ授與シ技ニ之ヲ表彰ス
平鐵工　雇員　杉浦和夫
可聽周波電信器ヲ技手瀧川正己ト協力研究ノ結果考案セルガ本器ハ現行ノ電信器ニ比シ優秀ナル性能ヲ有スルノミナラズ施設費低廉ニシテ業務上裨益スル所洵ニ尠カラズ仍テ朝鮮總督府鐵道局職員表彰規程ニ依リ金百圓ヲ授與シ技ニ之ヲ表彰ス
以上二月二十二日
書記　宗太郎
（各通）
同　山下末吉
總務課勤務ヲ命ス（用）
同　安本茂
（各通）
總　同　八嶋虎吉
京城地方鐵道局勤務ヲ命ス
以上二月二十三日
鐵道事務ヲ囑託ス　奥村直
月手當二百二十二圓ヲ給ス
監督課勤務ヲ命ス
二月十六日
京品　事　雇員　松田マツエ
願ニ依リ雇員ヲ免ス
二月十五日
雇員ヲ命ス　月給六十圓ヲ給ス　北村忠明
工作課勤務ヲ命ス（改）
二月十八日
雇員（技）ヲ命ス　月給六十五圓ヲ給ス　金山龍鎬
福溪第二工事區技術掛ヲ命ス　西山泉
雇員ヲ命ス　月給六十圓ヲ給ス
京城用品庫事務掛ヲ命ス
以上二月十九日
雇人ヲ命ス　日給一圓五十錢ヲ給ス　新原晟正
福溪第二工事區電力手ヲ命ス
二月十八日
（京城改良事務所）
雇人ヲ命ス　日給九十六錢ヲ給ス　金井周應
京城改良事務所庶務課雜務手ヲ命ス
二月二十一日
（平壤工場）
品事　雇員　内正秀
願ニ依リ雇員ヲ免ス
一月三十一日

編輯兼發行人　朝鮮總督府鐵道局內　木英之
發行所　京城府漢江通三丁目四十番地　朝鮮總督府鐵道局
印刷所　朝鮮總督府鐵道局授産部